

平成とうや病院 地域交流誌

# ななかま

2026年春号 vol.49



医療法人 清和会

私たちは

地域の皆さまが安心して

過ごしていただけるよう

日々の研鑽に励み

技術と知識の習得に努め

信頼される病院作りを

目指します

ご自由にお持ち  
ください

「幸福」「誠実」という花言葉を持つホタルカズラ。職員が熊本市江津湖のほとりで撮影しました。澄んだ青色が生命の輝きを感じさせ、うらかな春の光をいっぱいに浴びたような、涼やかな彩りと癒やしを添えてくれる一枚です。

管理栄養士はどのような仕事しているの？  
今回は病院で活躍する「管理栄養士」をご紹介します

特集

# 『食で人を支える』 管理栄養士の役割

管理栄養士は、病院や介護施設以外にも学校、行政機関、スポーツの現場、社員・学校の食堂、地域活動の現場などで働いています。管理栄養士は、献立を作成したり、栄養指導したり…食事に関わる仕事というぼんやりしたイメージがあるかもしれませんが、そこで今回は、当院の管理栄養士の仕事について一部ご紹介します。



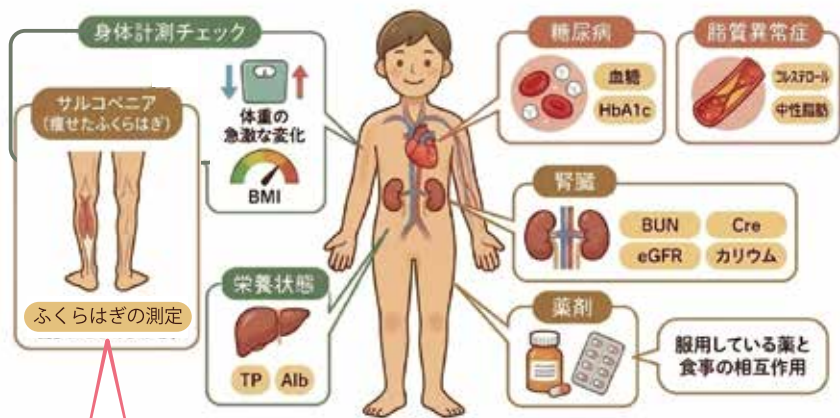
平成とうや病院  
栄養部主任管理栄養士  
田中 亜弥  
たなか あや

## 患者さまの状態やデータから 病気を読み取る

入院された患者さまの状態や身体計測値、血液データを読み取り、主病名とは別に既往症の確認、服用している薬剤から、病態や栄養上のリスクを見つけていきます。考えられる疾患を把握し栄養管理の方法を決定します。脱水や炎症反応などにより栄養管理の方法を再検討することもあります。

## 体格や病態から 適正カロリーを計算する

患者さま個々の必要なカロリーは、基礎エネルギー消費量や活動量、ストレス（感染症や手術後）などの状態から計算されます。患者さまの栄養目標が達成されているかを確認するためにも、リハビリでの活動量、感染症の有無など定期的に観察、記録し状態を把握します。体重減少などがあれば、適宜見直しを行います。



身体に必要な栄養が十分にとれていない可能性がないか？  
低栄養診断の為に、ふくらはぎの一番太い部分を測定します。筋肉量の目安がわかります。



## 病態別の食事をベースに必要な栄養を付加する

病院の食事は、治療の一環として提供されますが、食事摂取量が少ないと意図した治療効果が発揮できません。患者さまの状況に応じて、不足しているであろうカロリーや蛋白質、ビタミン、ミネラルなどを栄養補助食品などを用いて補い、治療効果を発揮できるように支援します。

## 食事の形態を検討する

食事の飲み込みが悪かったり、歯の問題などから普通の食事が摂りにくい場合は、食事の形態を見直します。

### 食事の形態紹介

ミキサー食



ゼリー/ソフト食



軟菜食



言語聴覚士、歯科衛生士と連携して、嚥下食やとろみの必要性など、患者さまの状態に応じた形態を検討して、誤嚥や窒息の危険性を考慮した食事の提供を行います。



## 患者さまと

## コミュニケーションをとる

入院時から患者さまのベッドサイドに訪問し、お話をします。食習慣や嗜好(食欲がない方の場合)など聞き取り、患者さまに寄り添った栄養管理を心がけています。



## 栄養指導を行う

糖尿病や脂質異常症、高血圧などの生活習慣病、消化器疾患、嚥下障害、低栄養などの患者さま、そのご家族を対象に食事内容や食習慣改善の提案や

嚥下食の作成方法、栄養補給方法などの指導を行っています。患者さまの検査の数値が改善されたり、体重管理が順調に進んだりするとやりがいを感じます。他にも、入院を予定している患者さまの栄養確認を入退院支援として実施しています。

## NST活動

## (栄養サポートチーム)

当院では、医師や看護師、薬剤師、管理栄養士の他、言語聴覚士や臨床検査技師などの専門職種で入院患者さまの栄養管理をサポートしています。毎週水曜日にメンバーが集まり、食事に問題を抱えていたり、口から食事を摂ることのできない患者さまの問題や、食事が開始されたばかりの患者さまの情報共有して、改善案を模索しています。



## 入院中・退院後の食事を支援します

入院中は、入院前の食事情報や栄養指導場面で得た情報を多職種で共有します。退院の際には、食事が少なかったり、飲み込みや口腔環境に問題がある場合に、退院先の病院や福祉施設、在宅を担当されるケアマネジャーさんに対し、栄養情報を共有しています。

退院から在宅での療養に移行する支援のつなぎ目が重要となる中、管理栄養士が自宅に訪問して栄養をサポートする訪問栄養指導の重要性が高まってきており、私達、管理栄養士の大切な役割として今後担っていきたくと考えています。



▲栄養情報提供書

必要な栄養の確保が出来なくなったり、栄養バランスが崩れてしまうと、治療やリハビリの効果が十分に得られなくなってしまいます。私達、管理栄養士は、患者さまおひとりおひとりに応じた栄養管理を行い、栄養指導や病院給食を通じて患者さまの栄養面をサポートしていきます。お食事の事で困っていることや悩んでいることがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。お食事のご感想(美味しいでも、そうでなくても)も大歓迎です♪

## 「おいしい」を支える、お食事前の新習慣！

### 昼食前の 口腔体操 (嚥下体操)

当院西3病棟で行っている昼食前の「口腔体操」は、脳と体をしっかり目覚めさせる「準備運動」です。唾液を出しやすくして飲み込みを助けるだけでなく、お口の筋肉を鍛えることで誤嚥性肺炎の予防にも繋がります。季節の話題で楽しく心を通わせながら、安全にお食事を楽しめる体づくりをサポートしています。



看護部  
介護福祉士



介護福祉士として日々のケアの中で患者さまの食べる楽しみを守るお手伝いができることを嬉しく思います。

嚥下機能は日々の積み重ねが大切であり、嚥下体操を通して安全な食事や誤嚥予防につながるよう、患者さまへの声かけや動きの確認を丁寧に支援していきたいです。また嚥下機能の維持だけでなく、体操を通じた声かけや笑顔のやりとりは、認知症の方への刺激や覚醒度の向上にもつながると感じています。

今後も看護師やリハビリスタッフ、栄養部とも連携し、患者さま一人ひとりに合わせた支援を意識しながら、嚥下体操が笑顔で参加出来る楽しい時間になるよう取り組んでいきたいと思ひます。



リハビリテーション部  
言語聴覚士



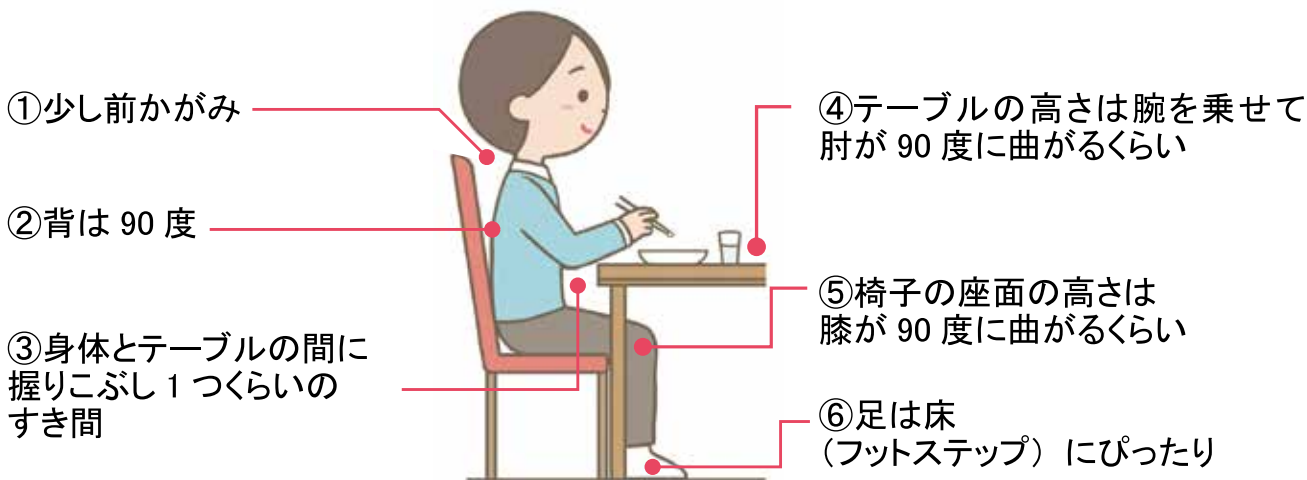
病棟には脳血管障害の方、大腿部骨折等の整形疾患の方など様々な入院患者さまがおられます。嚥下機能低下の理由は、脳血管障害だけでなく、加齢に伴う筋肉量の減少も原因となっていますので、口腔体操の対象者を、嚥下機能の低下を認めている方だけでなく、食堂で食事をされる患者さま全ての方を対象としました。そうすることで現状は嚥下機能に問題が無い患者さまも嚥下機能低下の予防を図ることができます。

開始してから、患者さまから体操を楽しみにしているという声も聞こえてきました。今後も継続して楽しんでいただきながら機能向上に繋がるように、より内容を充実させていきたいです。

## 誤嚥予防に向けて見直したい食事の姿勢

### いすや車いす上での食べる姿勢

食事中、食べ物が気管に入ることを防ぐために、まずは顔や口の角度に注意しましょう。あごが上がらない程度に少し前かがみになるくらいが安全に飲み込みやすい姿勢です。



令和8年度 とうや医療福祉グループ  
入社式が執り行われました

桜が美しく咲き誇る令和8年4月1日、とうや医療福祉グループでは入社式を執り行い、40名の新しい仲間を迎えました。

式典では、理事長および院長より辞令が交付されました。また、職員を代表して平成とうや病院リハビリテーション部山下さんから歓迎の言葉が贈られ、新入職員代表として水前寺とうや病院リハビリテーション部の楠さんが、これからの仕事に対する熱い意気込みを力強く宣言しました。

とうや医療福祉グループの一員として、新たな一歩を踏み出した新入職員たち。地域の皆様の健やかな暮らしを支える担い手として、共に歩んでまいります。どうか温かい目で見守っていただくと幸いです。



とうや医療福祉グループ新入職員 2026.04.01

新任医師着任のお知らせ (2026年1月13日より)



平成とうや病院  
診療部 医師

笠原 貴紀 (かさらは たかき)

【診療科目】 リハビリテーション科/整形外科

【資格・所属学会】 日本整形外科学会 (日本整形外科学会専門医)  
日本リウマチ学会 (日本リウマチ学会専門医)

【外来担当医師表】 毎週水曜日 午前

【着任のご挨拶】

令和7年12月末まで佐賀市内の病院でリウマチ患者さまを中心に診療治療にあたってきました。約40年間リウマチの診療に携わってきました。退職を機に平成とうや病院にお世話になることになりました。44年ぶり熊本での診療となりました。

ここ20年でリウマチの治療は大きく変わり、進歩し、リウマチの患者さまが寝たきりということがなくなり、元気に普通の生活ができるようになりました。リウマチの患者さんを診ることは少ないと思いますが、整形外科一般の患者さまを診て、地域の皆さまのお役にたてればと思います。よろしくお願いいたします。

【趣味】

◆野球 5年前までは草野球。ホークスが福岡に降り立って以来の熱狂的ファン。最近は減りましたが頻りに福岡に応援に行っていました。

◆美術館博物館巡り 機会があれば、あちこちまわっています。最近、上野の西洋美術館で「オルセー美術館」の「印象派展」を観ました。

◆リウマチの診療？

◆好きな物 甘い物が大好き。酒も飲みますが、饅頭と酒のどちらかと言われたら、饅頭をとります。

# タケノコとアスパラの

# ペペロンチーノ

# 甘夏入り

# ポテトサラダ



徐々に日差しも暖かくなり、春の兆しを感じられるようになりました。春は気温の変化や環境の変化も大きく、心身共に忙しい季節です。食事から心や体の健康を考えてみませんか？  
春が旬の野菜や果物は、熊本でもたくさん収穫することができます。今回は春に採れる野菜果物を使用した、体にも嬉しいレシピをご紹介します。

春の野菜と言えばタケノコ。熊本を含めた九州で生産量が多くなっています。食物繊維が豊富で、便秘解消や腸内環境改善が期待できます。ビタミンBやビタミンEも含まれ、美容や健康維持にも役立つ野菜です。

またアスパラも熊本県が全国第2位の生産量を誇っています。疲労回復を助けるアスパラギン酸を筆頭にビタミンC、ビタミンE、βカロテンなど高い抗酸化・滋養強壮効果を持つ野菜です。今回はタケノコとアスパラを組み合わせたペペロンチーノを紹介しています。どちらも食感が良く素材の味を楽しむことができます。

甘夏も九州・四国を中心に栽培されており春が旬の果物になります。今回はポテトサラダに入れてみました。さっぱりとした後味をぜひ味わっていただきたいです。

ペペロンチーノは比較的簡単に作ることで、食材を変えるだけで様々な食感や味わいを楽しむことが可能です。お好きな食材を入れて召し上がって頂ければと思います。

新しい年も始まり色々な変化が多い季節ですが、心も体も元気に過ごしていきたいでしょう。

管理栄養士 河端眞子

栄養士 直江莉央奈



## 12 平成とうや病院 栄養部 Recipe Spring

### 季節の身体に嬉しいレシピ

季節に合わせた身体に嬉しいレシピ！（熊本の野菜を使って）

## タケノコとアスパラのペペロンチーノ



### 材料 2人分

- パスタ（乾）----- 2束（80g×2）
- 厚切りベーコン-- 80g
- アスパラ ----- 2本（40g）
- タケノコ ----- 80g  
（水煮でも可）
- にんにく ----- 一かけ
- 鷹の爪 ----- 少々
- レモン（輪切り）- お好みで
- オリーブオイル-- 大さじ2弱（20g）
- 塩・こしょう --- 少々
- ブラックペッパー お好みで



### 作り方

- ① パスタはたっぷりの湯で茹でる。茹で汁は50mlほど取っておく。
- ② にんにくはみじん切りにする。アスパラは根元を切りピーラーで皮の固いところを剥いたあと、斜め切りにして茹でる。タケノコは薄く切り茹でる。
- ③ フライパンにオリーブオイル・にんにく・鷹の爪を入れて加熱する。ベーコン・アスパラ・タケノコを加えて炒める。
- ④ パスタと茹で汁を加えオリーブオイルと絡ませる。塩こしょうで味を整える。
- ⑤ 輪切りにしたレモンとブラックペッパーをトッピングする。

## 甘夏入りポテトサラダ

甘夏 Amanatsu Orange



### 材料 2人分

- 甘夏 ----- 2～4房  
（缶詰でも可）
- じゃが芋 -- 小1個（80g）
- 人参 ----- 中1/6本（20g）
- 玉ねぎ---- 中1/8個（20g）
- きゅうり -- 中1/5本（20g）
- マヨネーズ- 大さじ2（20g）
- 塩 ----- 一つまみ（2g）

### 作り方

- ① 甘夏は食べやすい大きさにカットする。
- ② じゃが芋は皮を剥き茹でてマッシュポテトにする。人参はいちょう切り、きゅうりは輪切り、玉ねぎは細切りにする。
- ③ 全ての材料とマヨネーズを混ぜ合わせ、塩で味を整える。





## 地域活動

のサロン開催報告

清和会の基本方針に基づき、地域の皆さまが住み慣れたこの地域で安心して過ごせるよう、様々な活動のお手伝いをさせていただいております。



【2月】

### 田迎地域コミュニティーセンター



2月18日に田迎地域コミュニティーセンターで「だご汁交流会」が開催され、お口の健康についてお話しさせていただきました。

この講話では、お口の役割・全身疾患と歯周病について・口腔乾燥・義歯や歯磨きについてお話しした後、参加者全員で口腔体操を実践しました。口腔体操では「パタカラ体操」と「あいうべ体操」を行い、口腔機能低下症や誤嚥予防等に効果があることをお伝えすることができました。

講話が終わる頃にはだご汁のよい香りが漂っていました。食前に口腔体操を行った為、いつもよりも美味しく食べられたのではないのでしょうか！



▲田迎地域コミュニティーセンターにて、歯科衛生士による講話の様子

【3月】

### 甲島口元気クラブ

3月24日、2ヶ月に1回運動指導で関わらせていただいている甲島口元気クラブへお邪魔しました。

今年度最後の回ということで、運動機能評価を行いました。生活の様子を伺うアンケートとともに1年間の総決算となりました。

今後も定期的な運動を生活に取り入れながら健康な心と体を維持していただきたいと思います。

【3月】

### 100nenカフェ

この度は2025年度最後の100nenカフェでした。小雨が降る中、皆勤賞の方々を含め9名の方に参加いただきました。

温かくなってきたので皆さん前月に比べ歩行スピードや握力が向上しておりました。

講話は「健康寿命について」でタンパク質を摂ることの重要性や筋力低下の予防について運動を交えて聴いていただきました。

2026年度も4月から始まります。どうぞよろしくお祈りします。



## 皆さまの<sup>キラキラ</sup>声をお聞かせください



病院内に7か所設置しているご意見箱「メッセージカード」や、「退院時アンケート」よりいただいた「ご意見」一つ一つに目を通し、『患者サービス向上委員会』で話し合い、改善に取り組んでおります。その取り組みの一部をご紹介します。また、お気づきの点などがございましたらいつでも声をお聞かせください。

皆さまの  
**声**

足が不自由な状態で入院しているのに、ドライヤー用コンセントの位置が低い。使用后、掃除をしたいのに、クイックルワイパーのお掃除シートがいつも汚れMAXできもち悪かったです。

**回答**

このたびは貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。ドライヤー用コンセントの位置が低くご不便をおかけしました。ご意見を受け、車椅子をご使用の方でも使いやすい高さにコンセントを設置いたしました。清掃につきましては、クイックルワイパーのシートを毎日交換することをスタッフへ再度周知し、今後も快適にお過ごしいただける環境づくりに努めてまいります。貴重なご意見有難うございました。



皆さまの  
**声**

病院全体が、とてもアットホームな雰囲気です。どのスタッフさんも、明るく声をかけてくださったのでポジティブに過ごせた事、感謝しております。ありがとうございました。

**回答**

今回はとても嬉しいご意見をいただき、ありがとうございます。どの職種のスタッフも笑顔で挨拶や声かけをするよう心がけ、患者さまに快適な入院生活を送って頂けるよう心がけております。これからも患者さまが明るい気持ちで過ごしていただけるよう努めてまいります。



# 平成とうや病院 病院実績

(2025年12月～2026年2月)



- ・外来患者延数 2,953人 (1日平均 46.9人)
- ・入院患者延数 12,146人 (1日平均 135.0人)
- ・急性期病院からの新規入院患者件数 160件
- ・在宅復帰率 地域包括ケア病棟 (西4) 85.4%
- ・在宅復帰率 回復期リハビリテーション病棟 (西3) 87.1%
- ・在宅復帰率 回復期リハビリテーション病棟 (東4) 88.7%

## 追加・変更のお知らせ

- 水曜日午前 笠原医師 (リハビリテーション科) へ変更。
- 月曜日午後 大江医師 (熊大) (呼吸器内科) へ変更。
- 木曜日午後 火野坂 淳 医師 (消化器内科) が追加。



## 平成とうや病院 外来のご案内とアクセス

- 診療科目 ▶▶ 内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・脳神経内科・リハビリテーション科
- 受付時間 ▶▶ 午前 8:30～11:30 午後 13:00～16:00
- 診療時間 ▶▶ 午前 9:00～12:00 午後 13:30～17:00
- 休診日 ▶▶ 土曜日午後・日曜・祝日・年末年始 ※第2・4・5土曜日は休診
- お問合せ・外来予約 ▶▶ 平成とうや病院 (代表) ☎ 096-379-0108



平成とうや病院  
☎ 096-379-0108

〒862-0963 熊本市南区出仲間8丁目2-15  
ホームページ: <https://www.tohya.or.jp/heisei/>  
e-mail: [heisei@tohya.or.jp](mailto:heisei@tohya.or.jp)

- ご質問や気になることはお気軽にご相談ください
- 企業様の健診・協会けんぽの健診も行っております
- 産業医お引き受けいたします

平成とうや病院  
通所リハビリテーションセンター  
訪問リハビリテーションセンター  
熊本市南区出仲間8丁目2-15  
(平成とうや病院1階)

営業日 ▶▶ 月～金曜日、土曜日午前  
※土曜日午後・日曜日、年末年始は休み

お問合せ ▶▶ 通所リハビリ・訪問リハビリ直通  
通所 TEL 096-283-8323  
訪問 FAX 096-283-8331

### 【外来担当医師表】

	月	火	水	木	金	土
午前	循環器内科 齊藤 忠興	循環器内科 後藤 和夫	リハビリテーション科 笠原 貴紀	呼吸器内科 森 孝志	リハビリテーション科 米村 憲輔	担当医  ※第2・4・5 土曜日は休診
	循環器内科 ※ヘスナー 鶴崎(熊大)	リハビリテーション科 依光 茂太	循環器内科 齊藤 忠興	リハビリテーション科 依光 茂太	呼吸器内科 永野 潤二	
	消化器内科 有田 哲正	脳神経内科 岩谷 奈緒	呼吸器内科 森 孝志	脳神経内科 岩谷 奈緒	脳神経内科 伊藤 康幸	
	内科 加来 以久子 <sup>※1</sup>	内科 加来 以久子 <sup>※1</sup>	内科 加来 以久子 <sup>※1</sup>		内科 加来 以久子 <sup>※1</sup>	
	熊本大学	熊本大学	熊本大学			
	呼吸器内科 大江(熊大)	リハビリテーション科 依光 茂太	脳神経内科 伊藤 康幸	消化器内科 有田 哲正	循環器内科 後藤 和夫	
午後		呼吸ケア専門外来 永野 潤二	循環器内科(心エコー) 熊大医師 <sup>※16:00迄</sup>	消化器内科 火野坂 淳		※1 10:30-12:00 ※2 13:30-15:00
	内科 加来 裕 <sup>※2</sup>		内科 加来 裕 <sup>※2</sup>		内科 加来 裕 <sup>※2</sup>	

- ### 患者様の権利
1. 公平で適正な医療を受ける権利  
患者さまの経済的・社会的地位、年齢、性別、疾患の種類にかかわらず、平等で適切な医療を受ける権利があります。
  2. 医療上の情報、説明を受ける権利  
患者さまが自ら病状を理解するために全ての情報を知る権利、検査や治療の目的、方法、内容、危険性、予後および病状の経過に関する説明を受ける権利があります。
  3. 十分な説明のもと自分自身の治療を決定する権利  
患者さまの自由な意思により、治療や検査を選択し、また拒否する権利があります。また、患者さまや家族の、医師や病院を選び、セカンドオピニオン(主治医以外の医師に相談すること)を受ける権利を尊重しています。
  4. プライバシーが保証される権利  
患者さまの承諾なくして、患者さまに関する情報を診療に関与する医療従事者以外の第三者に開示されない権利があります。
  5. 個人の尊厳が保証される権利  
患者さまの個人としての人格、価値観は尊重され、その尊厳をもってその生をまっとうする権利があります。

### 清和会 IDENTITY (個人)の尊重 ~ For You あなたのために ~

#### とうや医療福祉グループ

【医療法人清和会】

- 水前寺とうや病院 [142床]  
内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・脳神経内科・リハビリテーション科
- 平成とうや病院 [160床]  
内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・脳神経内科・リハビリテーション科
- 老人保健施設シルバーピア水前寺 [入所・短期入所72名]
- シルバーピア水前寺デイサービスセンター [通所介護50名]
- 在宅ステーション水前寺  
居宅介護支援事業所、訪問介護事業所
- 特定施設シルバーピアグラウンド通り [入居60名]
- 熊本市高齢者支援センター ささえりあ 江津湖

【社会福祉法人百八会】

- 特別養護老人ホーム シルバーピアさくら樹 [50名、短期入所6名]